

科 目 名：早期臨床実習ⅡB

担 当 教 員：大内 章嗣、小野 和宏、高橋 英樹、中村 健、山村 健介、岡本 圭一郎、瀬尾 憲司、小林 哲夫、米澤 大輔、小田島 あゆ子

開 講 番 号：200DA201

開 講 学 期：第1学期

水 準：13

単 位 数：1単位

対 象 学 部 等：口腔生命福祉学科2年生

【科目概要】

歯科衛生士および社会福祉士を目指すための専門科目を学習するに当たり、今後学習する知識・技術がどのように保健・医療・福祉の現場で生かされているかを見学実習を通じて学習する。また、専門科目の基礎実習・臨床実習を行うにあたり必要となる救急処置、感染予防等の基本的知識・技術を習得する。

※歯科医師、歯科衛生士、社会福祉士としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

学習に対する意識を向上し、学習内容の意義を認識するため、歯科衛生士・社会福祉士が活躍している現場についての理解を深める。また、今後の基礎実習・臨床実習を効果的かつ安全に実施するための基本的知識・技術を身につける。

【学習の到達目標】

- ・病院歯科における歯科衛生士業務の実際を概説できる。
- ・乳幼児歯科健診等の行政の歯科保健活動における歯科衛生士業務の実際を概説できる。
- ・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）における社会福祉士業務の実際を概説できる。
- ・中央児童相談所等行政の社会福祉施設における社会福祉士業務の実際を概説できる。
- ・バイタルサイン（血圧、脈拍、呼吸、体温）を測定できる。
- ・基本的な救急蘇生法を実施できる。
- ・痛みとその制御のメカニズムを理解する。
- ・診療用ユニットの基本構造および実習室と診療室のレイアウトが説明できる。
- ・感染予防のための基本的手技（手洗い、グローブ着脱、感染性廃棄物の取扱い等）を実践できる。
- ・患者応接に必要な基本的態度を説明できる。
- ・介助・介護の基本的手法を説明できる。

【授業形態】

施設見学実習は1-3回目は3グループに分かれて、新潟市保健所、新潟医療センター歯科、介護老人福祉施設ばんだい桜園において、4回目は一斉に新潟市児童相談所において見学実習を行う。実習後には学習した点、疑問点などについてグループディスカッションを通じて明確にし、その成果を各自がレポートにまとめる。後半の各回については、課題ごとにミニレクチャーおよび実習を行う。

【履修上の注意】

- ・見学実習にあたっては、見学実習先の概要や業務について調べ、見学のポイントや質問事項をまとめておくこと。
- ・見学実習後はグループディスカッションを行うため、学んだことや気づいたことをメモに残し、整理しておくこと。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	4/21（火）3-4限	施設見学実習オリエンテーション（大内、小野、高橋、中村）	保健所、病院歯科、介護老人福祉施設、児童相談所の業務についてまとめておく。
2	4/28（火）3-4限	施設見学実習1（保健所・病院歯科・介護福祉施設）（大内、小野、中村）	各自の見学先の事業内容、関係職種の役割について整理し、質問事項をまとめておく。
3	4/29（水）2限	グループディスカッション1（大内、小野、中村）	見学実習の際に気づいた点および疑問に思った点について、グループ内で発表できるよう整理しておく。
4	5/12（火）3-4限	施設見学実習2（保健所・病院歯科・介護福祉施設）（大内、小野、中村）	各自の見学先の事業内容、関係職種の役割について整理し、質問事項をまとめておく。
5	5/13（水）2限	グループディスカッション2（大内、小野、中村）	見学実習の際に気づいた点および疑問に思った点について、グループ内で発表できるよう整理しておく。
6	5/19（火）3-4限	施設見学実習3（保健所・病院歯科・介護福祉施設）（大内、小野、中村）	各自の見学先の事業内容、関係職種の役割について整理し、質問事項をまとめておく。
7	5/20（水）2限	グループディスカッション3（大内、小野、中村）	見学実習の際に気づいた点および疑問に思った点について、グループ内で発表できるよう整理しておく。

8	5/26 (火)	3-4 限	施設見学実習 4 (児童相談所) (高橋、大内)	児童相談所の業務と児童虐待の現状について整理し、質問事項をまとめておく。
9	5/27 (水)	2 限	グループディスカッション 4 (高橋、大内)	見学実習の際に気づいた点および疑問に思った点について、グループ内で発表できるよう整理しておく。
10	6/25 (木)	3-4 限	バイタルサイン測定 (山村、岡本)	人体のしくみの講義で配布した呼吸・循環の資料を復習し、要点を整理しておく。
11	7/2 (木)	3-4 限	介護体験実習 (ユニゾンプラザ介護実習室) (米澤)	高齢者の生理的・精神的特性について整理しておくとともに、下肢片側麻痺がある場合の歩行介助方法を調べておく。
12	7/9 (木)	3-4 限	患者面接法 (小林)	患者と円滑なコミュニケーションをとるために注意すべき点について整理しておく。
13	7/16 (木)	3-4 限	購入器材チェック、診療ユニットの基本構造、基礎実習室・相互実習室の見学 (小田島)	歯科診療ユニットの構造・名称について調べるとともに、購入した各機材の名称を確認しておく。
14	9/3 (木)	3-4 限	救急蘇生法、痛み (瀬尾、他)	救急蘇生の目的と実際について整理しておく。
15	9/10 (木)	3-4 限	感染予防対策 (小野)	標準感染予防対策 (スタンダードプリコーション) の概念と実際について整理しておく。

【成績評価の方法と基準】

提出レポート (60%)、実習態度 (40%) により総合的に評価する。

【使用テキスト】

指定しない。必要に応じて資料等を配布する。

【参考文献】

瀬尾憲司「AHAガイドライン2010と歯科医院での緊急対処法」医歯薬出版 (3,800円)
その他、必要に応じて授業中に紹介する。

科目名：臨床歯学演習（PBL入門）

担当教員：小野 和宏、大内 章嗣、葎原 明弘

開講番号：200DA202

開講学期：第1学期

水準：13

単位数：1単位

対象学部等：口腔生命福祉学科2年生

【科目概要】

具体的な臨床症例を題材としてグループで取り組み、自ら問題点や疑問点を抽出し、調査、討論を行い、グループのメンバーと協力しながら問題を解決する。

【科目のねらい】

医療人として生涯にわたり学び続けるために、自発的・主体性をもった学習態度と学習技法を身につける。

【学習の到達目標】

- ・ Problem-Based Learning (PBL) を説明する。
- ・ PBLを支える学習理論を説明する。
- ・ 情報を自ら収集、分析して問題点を探し出す。
- ・ 問題点を論理的に整理し、解決方法を自ら見出す。
- ・ 他の学習者や教員と協力して、最適な解決方法を見出す。
- ・ 図書、文献等を読んで、重要事項や問題点を抽出し、文書および口頭で分かりやすく表現するとともに、自分の考えを説明する。
- ・ 歯科医療における科学的根拠の重要性を説明する。

【授業形態】

本授業は講義とPBLで構成される。PBLでは、具体的な臨床症例がシナリオとして学生に提示され、学生同士でグループ討論を行い、問題点を整理する。次に図書館などで自主学習し、教員を交えて、各自学習したことをもとにグループで討論し、問題を解決する。学習者自ら問題を発見し、その解決方法を見出す能力を養うとともに、その過程を通じて新たな知識を習得する。

【履修上の注意】

- ・ 歯学部口腔生命福祉学科の専門教育では、学習方法としてPBLを全面的に導入しているため、この科目でその方法をきちんと身につける必要がある。
- ・ PBLでは、グループのメンバーと協力して学習を進めるため、本授業を履修する学生は全出席が望まれる。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	4/8（水）1限 2限	PBLの概要と進め方について（小野） 演習シナリオ1の提示および問題点の抽出（小野・葎原・大内）	準備学習（予習範囲） PBLについて調べておくこと
2	4/9（木）3限 4限	問題点と学習課題の整理の仕方について（小野） 演習シナリオ1における仮説と学習課題の設定（小野・葎原・大内）	講義内容の復習
3	4/10（金）1限 2限	自主学習のための教育資源について（葎原） 医歯学図書館での情報検索演習（図書館職員）	学習課題の調査
4	4/13（月）3限 4限	演習シナリオ1における学習課題の講義（葎原） 演習シナリオ2の提示および学習課題の設定（小野・葎原・大内）	講義内容の復習
5	4/14（火）3-4限	グループ学習（小野・葎原・大内）	学習課題の調査
6	4/15（水）3-4限	学習成果発表および追加学習（小野・葎原・大内）	発表の準備
7	4/16（木）1-2限	討論および評価（小野・葎原・大内）	第6回までの総復習

【成績評価の方法と基準】

最終回に行う口頭試問（100%）により評価する。なお、形成的評価により常に担当教員（ファシリテータ）がフィードバックを行う。

【使用テキスト】

特に指定しない。必要に応じて資料等を配布する。

【参考文献】

必要に応じて、授業中に紹介する。

科 目 名：歯科衛生士概論

担 当 教 員：大内 章嗣、米澤 大輔、坂井 あやめ (非)、片岡 繭 (非)、廣瀬 政子 (非)

開 講 番 号：200DA203 **開 講 学 期：**第1学期 **水 準：**13

単 位 数：1 単位 **対 象 学 部 等：**口腔生命福祉学科2年生

【科目概要】

人々の健康・福祉の実現を支援する歯科衛生士・社会福祉士の業務と責任等について、第一線で活躍する先輩からの実務経験に基づく講義を交えながら学習し、さらには学生同士で議論することにより、歯科衛生士・社会福祉士としての自覚と責任を涵養する。

【科目のねらい】

歯科衛生士・社会福祉士の資格が成立した背景、歴史的経緯および業務と果たすべき役割などについて理解するするとともに、歯科保健医療福祉に関わる専門職種の名称と業務の概要及びチームワークの重要性を理解する。

※歯科衛生士、社会福祉士としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、現場で実践できる内容の授業を行う。

【学習の到達目標】

- ・「健康」及び「保健」、「医療」、「福祉」の概念を説明できる。
- ・口腔が人々の健康及び福祉に果たす役割の概要について説明できる。
- ・歯科衛生士法に規定される歯科衛生士の業務及び責務について説明できる。
- ・社会福祉士及び介護福祉士法に規定される社会福祉士の業務及び責務について説明できる。
- ・歯科保健医療福祉に関わる専門職種の名称と業務の概要について説明できる。
- ・歯科衛生士の業務の実際と求められる役割（態度・知識・技術）について概説できる。
- ・社会福祉士の業務の実際と求められる役割（態度・知識・技術）について概説できる。
- ・歯科衛生士・社会福祉士の資格に関する歴史的経緯と現状、今後の方向性について説明できる。

【授業形態】

講義を基本とし、そこで学んだこと元にレポートをまとめたり、グループディスカッションして発表することにより学習を深める。

【履修上の注意】

- ・非常勤講師が担当する回では、事前に担当講師の所属等を提示するので、どのような業務をどのような場所で行っているか事前に調べて授業に臨むこと。

【授業計画】

回	日時	講義内容 (担当)	準備学習 (予習範囲)
1	4/17 (金) 3限	健康および保健・医療・福祉の概念とその取組み (大内)	「健康」の定義および我が国の「保健」、「医療」、「福祉」サービスについて整理しておく。
2	4/30 (木) 2限	歯科衛生士・社会福祉士の業務と責務 (米澤)	歯科衛生法、社会福祉士及び介護福祉士法の目的および業務の定義について整理しておく。
3	5/1 (金) 3限	行政での歯科衛生士の業務と求められる役割 (坂井)	市町村に勤務する歯科衛生士の業務について調べ、疑問点を整理しておく。
4	5/8 (金) 3限	歯科診療所に勤務する歯科衛生士の業務と求められる役割 (片岡)	歯科診療所に勤務する歯科衛生士の業務について調べ、疑問点を整理しておく。
5	5/15 (金) 3限	行政での社会福祉士の業務と求められる役割 (米澤)	都道府県行政に勤務する社会福祉士の業務について調べ、疑問点を整理しておく。
6	5/22 (金) 3限	老人福祉施設での社会福祉士の業務と求められる役割 (廣瀬)	老人福祉施設および地域包括支援センターに勤務する社会福祉士の業務について調べ、疑問点を整理しておく。
7	5/29 (金) 2限	グループディスカッション・発表 (大内)	第3～6回の講義で学んだ点・気づいた点について、発表できるよう整理しておく。
8	6/5 (金) 2限	歯科衛生士・社会福祉士の成り立ちと今後 (大内)	これまでの講義内容を整理・復習しておく。

【成績評価の方法と基準】

授業中に課す小テスト (20%)、レポート (60%)、学習態度 (20%) により総合的に評価する。

【使用テキスト】

指定しない。必要に応じて資料等を配布する。

【参考文献】

必要に応じて授業中に紹介する。

科 目 名：医療倫理

担 当 教 員：宮坂 道夫（保）

開 講 番 号：200DA204

開 講 学 期：第1学期

水 準：03

単 位 数：1単位

対 象 学 部 等：口腔生命福祉学科2年生

【科目概要】

現代医療には、医学的知識のみでは解決困難な倫理的問題が多い。本科目では、それらを系統的に整理するとともに、根拠に基づいた臨床判断（および医療政策の形成）をするための基礎を学習する。

【科目のねらい】

医療倫理学の基礎的理論、歴史、関係法規を踏まえて、歯科医として適切な倫理的判断を行うための方法を習得し、医学的知識に倫理的知識を統合したアカウンタビリティの基礎を身につける。

【学習の到達目標】

- ・医療倫理の主要な概念、原則、歴史、関連法規を説明できる。
- ・医療倫理の原則に基づいた倫理的問題の整理ができる。
- ・歯科診療に関わる主要な倫理的問題（患者の権利、インフォームド・コンセント、生と死に関わる問題等）を含む具体的な症例・事例に対して、倫理的問題を整理した上で、適切な意思決定のプロセスを提示できる。

【授業形態】

- ・医療倫理学の主要な概念、原則、歴史、関連法規および意思決定の方法論について、講義によって学習する。
- ・個別的なテーマを設定し、講義および小グループ演習形式の学習を行う。症例・事例を題材にしてグループ検討を行い、教室全体でそのテーマについての主要な問題点について検討する。

【履修上の注意】

- ・受講者は、あらかじめ講義で扱う教科書の該当箇所を読んでおくこと。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	4/10（金）4限	医療倫理学とは何か？	テキスト第1部の要点整理
2	4/24（金）4限	医療倫理学の歴史	テキスト第1部の要点整理
3	5/1（金）4限	医療倫理学の方法（1）	テキスト第2部の要点整理
4	5/22（金）4限	医療倫理学の方法（2）	テキスト第2部の要点整理
5	5/29（金）3限	医療倫理学各論（1）	テキスト第3～6部の要点整理
6	6/5（金）4限	医療倫理学各論（2）	テキスト第3～6部の要点整理
7	6/12（金）3限	医療倫理学各論（3）	テキスト第3～6部の要点整理
8	6/19（金）4限	総括・試験	1～7回の授業内容の復習

【成績評価の方法と基準】

筆記試験の成績（50%）および講義中に課す課題（50%）で評価する。

【使用テキスト】

宮坂 道夫「医療倫理学の方法（第3版）」医学書院（2,800円）

【参考文献】

宮坂 道夫・他訳「医療倫理1」みすず書房（5,500円）

宮坂 道夫・他訳「医療倫理2」みすず書房（5,500円）

大井 賢一・他著「歯科医療倫理Q&A」太陽出版（1,800円）

科目名：人体のしくみ

担当教員：Stegaroiu Roxana、前田 健康、大島 勇人、山村 健介、大峡 淳、依田 浩子、岡本 圭一郎、川崎 真依子、黒川 孝一、奥村 暢旦

開講番号：200DA205

開講学期：第1学期

水準：14

単位数：8単位

対象学部等：口腔生命福祉学科2年生

【科目概要】

本科目は大きく「人体の構造と機能」と「咀嚼・嚥下の科学」に分けられる。「人体の構造と機能」では、総論として人体の構造・機能をマクロ・ミクロ的観点から学習し、各論として口腔領域に特徴的な構造・機能を学習する。また、口腔の構造と機能に関する理解を深めるための実習を行う。「咀嚼・嚥下の科学」では、咀嚼と嚥下に関する構造・仕組みを学んだ上で、咀嚼・嚥下を介したQOLの向上について学習する。

【科目のねらい】

人体の基本形態と構造及びその発生過程、特に口腔・歯及び歯周組織の形態と構造を統合的に理解するために、歯科衛生士として必要な解剖学的知識を修得する。生命現象を科学的視点で捉えるために、人体の生理、特に咀嚼・嚥下、口腔感覚、唾液の生理について理解し、歯科衛生士として必要な生理学的知識を修得する。

【学習の到達目標】

- ・身体の方向用語を正確に用いる事ができる。
- ・骨の基本構造と機能を説明できる。
- ・筋の基本構造と機能を説明できる。
- ・人体を構成する主な骨と筋を列挙できる。
- ・消化器（食道、胃、小腸、大腸）の基本構造と機能を説明できる。
- ・肝臓の基本構造と機能および胆汁の分泌経路を説明できる。
- ・膵臓の外分泌部と内分泌部の特徴を説明できる。
- ・鼻腔、副鼻腔、気管および気管支の基本的な構造を説明できる。
- ・肺の基本構造と機能を説明できる。
- ・腎臓と尿路の基本構造と機能を説明できる。
- ・男性生殖器・女性生殖器の基本構造と機能を説明できる。
- ・各内分泌腺の基本構造と機能およびホルモンを説明できる。
- ・外分泌腺と内分泌腺の違いを説明できる。
- ・動脈、毛細血管及び静脈の構造と血管系の役割を説明できる。
- ・体循環と肺循環の2系統を説明できる。
- ・心臓の基本構造と機能を説明できる。
- ・動脈と静脈の流れの概略を説明できる。
- ・上肢・下肢・体幹の血液循環の概略を説明できる。
- ・胎児循環について説明できる。
- ・バイタルサイン（血圧、脈拍、呼吸、体温）の概念を説明できる。
- ・体液の成分と働きを説明できる。
- ・ホメオスタシスの概念を説明できる。
- ・生命維持に不可欠な生体機能を列挙できる。
- ・呼吸・循環の意義を説明できる。
- ・脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。
- ・脳脊髄神経と自律神経の違いについて説明できる。
- ・脳と脊髄の基本的構造を説明できる。
- ・興奮性組織（神経・筋）の興奮発生の仕組みを概説できる。
- ・生命維持と脳幹の関係を説明できる。
- ・視覚器、平衡聴覚器、外皮、味覚器、嗅覚器の基本構造と機能を説明できる。
- ・細胞の基本構造（核+細胞質：細胞内小器官）について説明できる。
- ・細胞のエネルギー産生と酸化の関係を説明できる。
- ・皮膚と粘膜の違いを説明できる。
- ・組織を4つに分け（上皮・支持・筋・神経組織）、それぞれの特徴を説明できる。
- ・ヒトの発生過程の概略について説明できる。
- ・顎顔面と口腔の発生を概説できる。
- ・歯と歯周組織の基本的な組織構造を概説できる。
- ・歯の萌出時期・機序について臨床的に考察できる。
- ・顎下腺・舌下腺・耳下腺の部位とその導管について説明できる。
- ・頭蓋を構成する骨の概略を説明できる。
- ・咀嚼筋、舌骨上筋群の起始・停止、支配神経、作用の概略を説明できる。
- ・顎関節の基本構造と機能を説明できる。
- ・上下顎を支配する神経、血管について説明できる。

- ・頭頸部の動脈、静脈、リンパの概略を説明できる。
- ・頭蓋底を出入りする神経と血管について説明できる。
- ・歯の用語、歯式と歯数を説明できる。
- ・永久歯、乳歯の形態的特徴（歯冠・歯根・歯髄腔）について説明できる。
- ・乳歯と永久歯の相違について説明できる。
- ・歯の配列と咬合について説明できる。
- ・異常歯の概略について説明できる。
- ・特定の歯の3次元的な形態をイメージできる。
- ・歯と歯周組織、口腔の機能を列挙できる。
- ・吸啜、咀嚼と嚥下の動態と神経制御機構および機能的意義を説明できる。
- ・嘔吐の機能的意義と誘発の仕組みを説明できる。
- ・歯と口腔の感覚の発現の仕組みと機能的意義を説明できる。
- ・味覚の受容機構について説明できる。
- ・唾液の性質と働きを列挙できる。
- ・咀嚼における口腔内諸器官の役割を概説できる。

【授業形態】

人体解剖学は講義形式中心で行い、口腔解剖学はグループによるPBL学習を中心に行う。また、生理学は講義とPBL学習により学ぶ。また、身体の内部構造の理解を深めるために、実際にご遺体に触れ「人体解剖学実習見学」を行う。さらに、歯や歯周組織を中心とした口腔の構造と機能の理解を深めるために「骨学実習」、「組織顕微鏡実習」、「歯のスケッチ」、「歯型彫刻実習」を行う。

【履修上の注意】

- ・授業プリントが事前に配布された場合は、それをもとに予習をした上で授業に臨むこと。

【授業計画】

回	日時	講義内容(担当)	準備学習(予習範囲)
1	4/14(火) 1限	講義:解剖学総論(解剖学で学ぶ内容の概説、人体の区分、方向用語)(前田)	授業プリントの要点確認
	2限	講義:骨格学(前田)	授業プリントの要点確認
2	4/15(水) 1限	講義:筋系(大島)	テキスト①Ⅱ編:第2章、3章、6章、8章、10章、11章の要点確認
	2限	講義:内臓学(大島)	授業プリントの要点確認
3	4/16(木) 3限	講義:脈管学(前田)	授業プリントの要点確認
	4限	講義:神経学(前田)	授業プリントの要点確認
4	4/20(月) 3-4限	実習:骨学(大島)	テキスト①Ⅱ編:第1章の要点確認
5	4/21(火) 2限	PBL:シナリオ1(「天使のカード」)提示・課題抽出(FC)	PBLの進め方の復習
6	4/22(水) 1限	講義:感覚器(大島)	テキスト①Ⅱ編:第7章、Ⅰ編:第2章、テキスト②Ⅱ編:第2章の要点確認
	2限	講義:発生学(大島)	
7	4/23(木) 1-2限	PBL:シナリオ1グループ学習	シナリオ1の学習課題の整理
8	4/23(木) 3-4限	PBL:シナリオ1グループ討議(FC)	シナリオ1の学習成果発表の準備
9	4/27(月) 3限	PBL:シナリオ1学習成果のまとめ(FC)	シナリオ1の追加学習・学習成果の要点確認
	4限	PBL:シナリオ1まとめ発表、講師とのディスカッション(山村)	シナリオ1の全体発表の準備
10	4/28(火) 1限	講義:人体生理学1(山村)	授業プリントの要点確認
	2限	PBL:シナリオ2(「歯の異常?」)提示・課題抽出(FC)	講義内容(発生学)の復習
11	4/29(水) 3-4限	PBL:シナリオ2グループ学習	シナリオ2の学習課題の整理
12	4/30(木) 3-4限	PBL:シナリオ2グループ討議(FC)	シナリオ2の学習成果発表の準備
13	5/7(木) 3限	PBL:シナリオ2学習成果のまとめ(ロクサーナ)	シナリオ2の追加学習・学習成果の要点確認
	4限	PBL:シナリオ3(「身元不明者」)提示・課題抽出(FC)	シナリオ2の学習内容の復習
14	5/11(月) 3限	PBL:シナリオ2まとめ発表、講師とのディスカッション(依田)	シナリオ2の全体発表の準備
15	5/12(火) 1-2限	PBL:シナリオ3グループ学習	シナリオ3の学習課題の整理
16	5/13(水) 3-4限	PBL:シナリオ3グループ討議(FC)	シナリオ3の学習成果発表の準備
17	5/14(木) 3限	PBL:シナリオ3学習成果のまとめ(ロクサーナ)	シナリオ3の追加学習・学習成果の要点確認
	4限	PBL:シナリオ3まとめ発表、講師とのディスカッション(川崎)	シナリオ3の全体発表の準備

18	5/18 (月)	3限 4限	合同講義：摂食・嚥下 (前田・岡本) 合同講義：呼吸・循環 (大島・山村)	テキスト②p105-120の要点確認 授業プリントの要点確認
19	5/19 (火)	1-2限	講義：歯の解剖 (前田)	授業プリントの要点確認
20	5/20 (水)	3限 4限	講義：人体生理学2 (山村) PBL：シナリオ4 (「歯並びを気にする本間直美さん」) 提示・課題抽出 (FC)	授業プリントの要点確認 講義内容 (歯の解剖、脈管学、神経学) の復習
21	5/21 (木)	3-4限	実習：組織顕微鏡 (正常歯、歯の発生、唾液腺の標本観察) (大峡、川崎)	テキスト②p208-249、260-263
22	5/25 (月)	3-4限	PBL：シナリオ4グループ学習	シナリオ4の学習課題の整理
23	5/26 (火)	1-2限	PBL：シナリオ4グループ討議 (FC)	シナリオ4の学習成果発表の準備
24	5/27 (水)	3限 4限	PBL：シナリオ4学習成果のまとめ (ロクサーナ) PBL：シナリオ4まとめ発表、講師とのディスカッション (大峡)	シナリオ4の追加学習・学習成果の要点確認 シナリオ4の学習成果発表の準備
25	5/28 (木)	3-4限	実習：歯のスケッチ・歯の解剖 (ロクサーナ、黒川)	テキスト②p148-207、テキスト③p19、28~97
26	6/1 (月)	3限 4限	PBL：シナリオ5 (「虫歯で死ぬなんて!」) 提示・課題抽出 (FC) 実習：歯型彫刻 (ロクサーナ、奥村)	講義内容 (内臓学：口腔の解剖、脈管学、神経学) の復習 テキスト②p173~175、254~259、 テキスト③p61~68
27	6/3 (水)	3-4限	実習：歯型彫刻 (ロクサーナ、奥村)	授業プリントの要点確認
28	6/4 (木)	3-4限	PBL：シナリオ5グループ学習	シナリオ5の学習課題の整理
29	6/8 (月)	3-4限	PBL：シナリオ5グループ討議 (FC)	シナリオ5の学習成果発表の準備
30	6/10 (水)	3限 4限	PBL：シナリオ5学習成果のまとめ (ロクサーナ) 実習：歯型彫刻 (ロクサーナ、奥村)	シナリオ5の学習課題の整理 授業プリントの要点確認
31	6/11 (木)	3限 4限	PBL：シナリオ5まとめ発表、講師とのディスカッション (前田) PBL：シナリオ6 (「口腔機能」) 提示・課題抽出 (FC)	シナリオ5の全体発表の準備 講義内容 (内臓学：口腔の解剖) の復習
32	6/15 (月)	3-4限	PBL：シナリオ6グループ学習	シナリオ6の学習課題の整理
33	6/17 (水)	3-4限	PBL：シナリオ6グループ討議 (FC)	シナリオ6の学習成果発表の準備
34	6/18 (木)	3-4限	実習見学：人体解剖学実習 (大島、依田)	授業プリントの要点確認
35	6/22 (月)	3限	PBL：シナリオ6学習成果のまとめ (ロクサーナ)	シナリオ6の学習課題の整理
36	6/24 (水)	3限 4限	講義：口腔生理学 (岡本) PBL：シナリオ6まとめ発表、講師とのディスカッション (岡本)	テキスト②p68-80の要点確認 シナリオ6の全体発表の準備

【成績評価の方法と基準】

多肢選択式および記述式の筆記試験 (100%) により評価する。試験は口腔解剖学分野担当分 (30%)、硬組織形態学分野担当分 (30%)、口腔生理学分野担当分 (人体生理学 (20%) および口腔生理学 (20%)) の4つの担当範囲からそれぞれ実施し、すべてで60点以上を獲得した者を合格とする。

なお、7月に実施する改良版トリプルジャンプにより形成的評価を行う。改良版トリプルジャンプを正当な理由なく受験しなかった場合、総括的評価を受けられないことがあるので注意すること。

【使用テキスト】

- ①全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」医歯薬出版 (4,200円+税)
- ②全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」医歯薬出版 (4,400円+税)
- ③前田 健康 編「基礎から学ぶ歯の解剖」医歯薬出版 (3,000円+税)

【参考文献】

- 藤田 恒夫 著「入門人体解剖学 (改訂第5版)」南山堂 (5,000円+税)
 高野 廣子 著「解剖生理学」南山堂 (4,800円+税)
 脇田 稔・他編「パイロットアトラス 標本で学ぶ口腔の発生と組織」医歯薬出版 (6,800円+税)
 高木 實 著「カラーグラフィックス 口腔の構造と機能」医歯薬出版 (8,000円+税)
 中村 嘉男・他編「基礎歯科生理学 (第6版)」医歯薬出版 (10,000円+税)
 大地 陸男 著「生理学テキスト (第8版)」文光堂 (5,400円+税)

科 目 名：疾病とその病態

担 当 教 員：小野 和宏、寺尾 豊、佐伯 万騎男、田沼 順一、瀬尾 憲司、土門 久哲、山崎 学

開 講 番 号：200DA206

開 講 学 期：第1学期

水 準：14

単 位 数：2単位

対 象 学 部 等：口腔生命福祉学科2年生

【科目概要】

口腔ならびに全身に生じる代表的な疾患について、その病因、病態、予防を中心に学習する。特に病原微生物に対する生体の反応や薬物の作用、また感染予防対策に力点が置かれる。
歯科医師として実務経験のある教員が、その経験を活かして、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

医療従事者として適切な活動をするために、病気の成り立ちを理解するとともに、感染予防に対する基本的な考え方を身につける。

【学習の到達目標】

- ・奇形、疾病の病因について概説する。
- ・奇形、循環障害、代謝障害、退行性病変、病的増殖、炎症、嚢胞、腫瘍について概説する。特に主要な全身疾患（悪性腫瘍、脳血管障害、循環器疾患、糖尿病等）については、病態および基本的な治療法を説明する。
- ・微生物を分類する。
- ・おもな病原性および薬剤耐性微生物を列挙し概説する。
- ・宿主-寄生体相関と感染の成立について説明する。
- ・生体の免疫反応およびアレルギーについて説明する。
- ・滅菌と消毒について説明する。
- ・スタンダードプレコーションについて説明する。
- ・代表的な感染症について説明する。
- ・薬理作用の基本を説明する。
- ・薬物の吸収と運命について概説する。
- ・薬物の作用を規定する要因について概説する。
- ・抗菌薬、抗炎症薬、鎮痛薬、抗癌薬、麻薬、麻酔薬、消毒薬の作用と副作用を説明する。
- ・医薬品（おもな歯科用薬物）の管理法を説明する。

【授業形態】

講義を基本とする。また、毎回、担当教員より課題が出されるので、授業の復習を行い、レポートを作成し提出する。

【履修上の注意】

- ・あらかじめテキストを読み、疑問点等を整理した上で授業に望むこと。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	6/9（火）1-2限	疾病とその病理（田沼・山崎）	テキスト①の要点確認
2	6/16（火）1-2限	感染症と感染予防（小野）	テキスト④の要点確認
3	6/23（火）1-2限	う蝕と歯周病の細菌学（寺尾）	テキスト②の要点確認
4	6/30（火）1-2限	歯科診療と病原微生物（寺尾）	テキスト②の要点確認
5	7/7（火）3-4限	生体の免疫反応／アレルギー（土門）	テキスト②の要点確認
6	7/14（火）3-4限	薬剤の吸収・運命と作用を規定する要因（佐伯）	テキスト③の要点確認
7	7/21（火）3-4限	薬剤とその作用（佐伯）	テキスト③の要点確認
8	9/1（火）1-2限	麻酔と鎮痛（瀬尾）	テキスト④の要点確認
9	9/8（火）1-2限	口腔に生じる疾患とその病理（田沼・山崎）	テキスト①の要点確認

【成績評価の方法と基準】

筆記試験（80%）およびレポート（20%）により評価する。評価は田沼・山崎、寺尾・土門、瀬尾、佐伯、小野で担当する範囲それぞれで実施し、すべて60点以上の者を合格とする。

【使用テキスト】

- ①全国歯科衛生士教育協議会監修「最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理学・口腔病理学」（医歯薬出版 4,180円）
- ②全国歯科衛生士教育協議会監修「最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学」（医歯薬出版 3,300円）
- ③全国歯科衛生士教育協議会監修「最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学（第2版）」（医歯薬出版 3,520円）

④全国歯科衛生士教育協議会監修「最新歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科学・歯科麻酔」(医歯薬出版 3,740円)

【参考文献】

必要な場合は、授業時に教員が指示する。

科 目 名：口腔の科学

担 当 教 員：小野 和宏、葭原 明弘、山崎 和久、吉羽 邦彦、田沼 順一、山崎 学

開 講 番 号：200DA207

開 講 学 期：第1学期

水 準：14

単 位 数：6単位

対 象 学 部 等：口腔生命福祉学科2年生

【科目概要】

歯、歯周組織および口腔に生起する事象、また、齲蝕や歯周疾患をはじめとした口腔疾患の病因、病態、予防に関して、学生はグループに分かれ自主的な調査、討論を通して学習を進める。学生の求めや必要に応じてセミナーが行われる。歯科医師として実務経験のある教員が、その経験を活かして、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

適切な口腔保健ならびに歯科医療を実践するために、グループのメンバーと協力しながら、口腔疾患の病因、病態、予防の概要を理解する。

【学習の到達目標】

- ・歯、歯周組織および口腔の健康について説明する。
- ・口腔組織の加齢変化について説明する。
- ・口腔微生物叢の由来と成立、生態、定着機序を説明する。
- ・歯垢および歯石の形成過程と機序、微生物組成を説明する。
- ・口腔の自然抵抗性を説明する（口腔粘膜の防御機構、歯肉溝浸出液と唾液の作用）。
- ・齲蝕ならびに歯周疾患と免疫について説明する。
- ・齲蝕の病因、病態、予防について説明する。
- ・齲蝕に続発する歯髄ならびに根尖部歯周組織の病変について説明する。
- ・歯周疾患の病因、病態、予防について説明する。
- ・口臭症の病因、病態、予防について説明する。
- ・口腔粘膜疾患について説明する。
- ・情報を自ら収集、分析して問題点を探し出す。
- ・問題点を論理的に整理し、解決方法を自ら見出す。
- ・他の学習者や教員と協力して、最適な解決方法を見出す。
- ・図書、文献等を読んで、重要事項や問題点を抽出し、文書および口頭で分かりやすく表現するとともに、自分の意見を説明する。

【授業形態】

PBLとする。具体的な臨床症例がシナリオとして提示されるので、グループごとに学生相互の討論を行い、問題点を整理する。次に、図書、文献等で自主的な学習を行い、その学習で得た知識をもとに再度グループごとに討論を行い、問題の解決と新たな問題点を見出す。これを繰り返すことによって、問題解決能力を開発していくとともに、口腔疾患の病因、病態、予防の概要を理解する。

【履修上の注意】

- ・授業科目「臨床歯学演習（PBL入門）」において、PBLの学習方法を十分に身につけていることが望まれる。
- ・自宅等で自主学習を行うために、インターネット検索ができる環境を整備しておくことが望まれる。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	6/2（火）3限 4限	オリエンテーション（小野） シナリオ1提示（60kgの力で噛める？）（FC3名）	準備学習（予習範囲） 授業科目「臨床歯学演習（PBL入門）」の内容を復習しておくこと
2	6/9（火）3-4限	グループ学習	シナリオ1学習課題の調査
3	6/16（火）3限 4限	シナリオ1討論（FC3名） シナリオ2提示（もしも唾液がでなくなったら）（FC3名）	シナリオ1討論の準備
4	6/23（火）3-4限	グループ学習	シナリオ2学習課題の調査
5	6/26（金）3限 4限	シナリオ2討論（FC3名） シナリオ3提示（口腔内は腸管に次ぐ細菌数？）（FC3名）	シナリオ2討論の準備
6	6/29（月）3-4限	グループ学習	シナリオ3学習課題の調査
7	6/30（火）3限 4限	シナリオ3討論（FC3名） シナリオ4提示（人はカビのついたものまで食べるけど）（FC3名）	シナリオ3討論の準備
8	7/1（水）3-4限	グループ学習	シナリオ4学習課題の調査

9	7/3 (金)	3限 4限	シナリオ4 討論 (FC 3名) シナリオ5 提示 (歯垢、歯石ってなに?) (FC 3名)	シナリオ4 討論の準備
10	7/6 (月)	3-4限	グループ学習	シナリオ5 学習課題の調査
11	7/8 (水)	3限 4限	シナリオ5 討論 (FC 3名) シナリオ6 提示 (歯周病は感染症?) (FC 3名)	シナリオ5 討論の準備
12	7/10 (金)	3-4限	グループ学習	シナリオ6 学習課題の調査
13	7/13 (月)	3限 4限	シナリオ6 討論 (FC 3名) シナリオ7 提示 (歯周病になると心筋梗塞になることも!) (FC 3名)	シナリオ6 討論の準備
14	7/15 (水)	3-4限	グループ学習	シナリオ7 学習課題の調査
15	7/17 (金)	3限 4限	シナリオ7 討論 (FC 3名) シナリオ8 提示 (羽賀家の人々:羽賀美香 パート1) (FC 3名)	シナリオ7 討論の準備
16	7/20 (月)	3限 4限	シナリオ8 討論 (FC 3名) シナリオ9 提示 (羽賀家の人々:羽賀美香 パート2) (FC 3名)	シナリオ8 学習課題の調査および討論の準備
17	7/22 (水)	3-4限	病理学実習 (歯髄、歯周組織、口腔粘膜の正常像と病理組織像) (田沼・山崎)	これまで学んだ内容を復習しておくこと
18	9/1 (火)	3限 4限	シナリオ9 討論 (FC 3名) シナリオ10提示 (羽賀家の人々:羽賀英世) (FC 3名)	シナリオ9 学習課題の調査および討論の準備
19	9/2 (水)	3-4限	グループ学習	シナリオ10学習課題の調査
20	9/4 (金)	3限 4限	シナリオ10討論 (FC 3名) シナリオ11提示 (竹中夫婦の悩み) (FC 3名)	シナリオ10討論の準備
21	9/7 (月)	3-4限	グループ学習	シナリオ11学習課題の調査
22	9/8 (火)	3限 4限	シナリオ11討論 (FC 3名) シナリオ12提示 (口腔粘膜百景) (FC 3名)	シナリオ11討論の準備
23	9/9 (水)	3-4限	グループ学習	シナリオ12学習課題の調査およびこれまで学んだ内容に関する疑問点の整理
24	9/11 (金)	3限 4限	シナリオ12討論 (FC 3名) セミナー (小野・山崎和久・吉羽・葎原)	シナリオ12討論の準備およびこれまで学んだ内容に関する疑問点の整理

【成績評価の方法と基準】

記述式試験 (100%) による総括的評価を行う。試験は、齲蝕、歯周疾患、口臭、粘膜疾患など、シナリオの学習範囲それぞれで実施し、すべて60点以上の者を合格とする。なお、問題解決能力に関しては、形成的評価により常にファシリテータ (FC) がフィードバックを行う。また、7月に実施する改良版トリプルジャンプにより評価する。改良版トリプルジャンプは形成的評価であるが、正当な理由なく受験しなかった場合、総括的評価を受けられないことがあるので注意すること。

【使用テキスト】

特に指定しない。

【参考文献】

学習のため多くの図書や文献等にあたることを勧める。なお、実習については別途指示することがある。

科目名：歯科臨床概論

担当教員：黒川 孝一、山崎 和久、吉羽 邦彦、葭原 明弘、齋藤 功、小林 正治、井上 誠、勝良 剛詞、田中 裕、長谷川 陽子、秋葉 奈美、岩瀬 陽子

開講番号：200DA208

開講学期：第1学期

水準：14

単位数：2単位

対象学部等：口腔生命福祉学科2年生

【科目概要】

医療従事者である歯科衛生士に求められる基本的態度・知識について習得するとともに、歯科診療における主要な疾患とその治療法の基本的事項について総合的に学習する。

※歯科医師、歯科衛生士としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

医療従事者として信頼される歯科衛生士となるため、求められる基本的態度・知識について理解する。また、歯科診療補助及び臨床歯科学を効果的に学習するため、歯科診療における主要な疾患・病態及び基本的な治療の流れについて理解する。

【学習の到達目標】

- ・医療の目的と理念について説明できる。
- ・医療の成立要件（3要件）について説明できる。
- ・医の倫理とインフォームドコンセントについて説明できる。
- ・医療上用いられる基本的な用語（病院、診療所、初・再診、問診、主訴、現病歴、既往、診断、診療補助等）の意味を説明できる。
- ・歯科医療の内容について概説できる。
- ・歯科診療の基本的流れについて概説できる。
- ・歯科医療の特異性について概説できる。
- ・対象別の歯科患者心理の特徴とその対応について概説できる。
- ・歯科疾患の概要（大分類と主な疾患名、その内容）について概説できる。
- ・保存修復および歯内治療の概要（主な対象疾患とその治療の流れの概要：以下同じ。）について説明できる。
- ・歯周治療の概要について説明できる。
- ・歯科補綴治療の概要について説明できる。
- ・小児歯科治療の概要について説明できる。
- ・予防歯科治療の概要について説明できる。
- ・矯正歯科治療の概要について説明できる。
- ・歯科放射線科の診療の概要について説明できる。
- ・摂食・嚥下障害の治療の概要について説明できる。
- ・歯科口腔外科疾患の診断と治療の概要について説明できる。
- ・歯科における麻酔の概要について説明できる。

【授業形態】

資料、スライド等を用いた講義を行う。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	6/11（木）1-2限	医療の概念および歯科医療の範囲と基本的流れ（黒川）	医療の概念および歯科医療の範囲と基本的流れの要点の確認
2	6/18（木）1-2限	歯科医療の特殊性および患者心理、歯科疾患の概要（黒川）	歯科医療の特殊性および患者心理、歯科疾患の要点の確認
3	6/25（木）1-2限	保存治療および歯周治療の概要（吉羽・山崎）	保存治療および歯周治療の要点の確認
4	7/2（木）1-2限	補綴治療の概要（秋葉・長谷川）	補綴治療の要点の確認
5	7/9（木）1-2限	小児歯科治療および予防歯科治療の概要（岩瀬・井上）	小児歯科治療および予防歯科治療の要点の確認
6	7/16（木）1-2限	矯正歯科治療の概要（齋藤）	矯正歯科治療の要点の確認
7	9/3（木）1-2限	歯科放射線科および摂食嚥下機能回復部における診療の概要（勝良・葭原）	歯科放射線科および摂食嚥下機能回復部における診療の要点の確認
8	9/10（木）1-2限	歯科口腔外科における治療の概要および歯科における麻酔の概要（小林・田中）	歯科口腔外科における治療の概要および歯科における麻酔の要点の確認

【成績評価の方法と基準】

筆記試験（100%）により総合的評価（選択式および記述式）を行う。

【使用テキスト】

指定しない。必要に応じて資料等を配布する。

【参考文献】

必要に応じて授業中に紹介する。

医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 の各診療科目ごとの教本が参考になる。

科 目 名：歯科衛生学 I

担 当 教 員：葭原 明弘、山崎 和久、Stegaroiu Roxana

開 講 番 号：200DA209

開 講 学 期：第 2 学期

水 準：14

単 位 数：8 単位

対 象 学 部 等：口腔生命福祉学科 2 年生

【科目概要】

歯科衛生士の業務である保健指導や予防処置を行うにあたって必要な専門的知識について、保健指導、歯科予防処置、口腔衛生学・歯科統計学、栄養指導・栄養学などの従来の科目を区別せず総合的に包含したシナリオを用いてスモールグループにより学習する。

※歯科医師、歯科衛生士としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

保健指導・管理を行うために必要な基礎知識や歯口清掃法、栄養・食生活などを整理し、疾患別、対象別に保健指導法を立案し、適切な方法で実施、評価できる。また、う蝕・歯周病予防処置法を適切に実施するために、予防処置の理論、術式を理解する。さらに、歯科保健医療に必要な統計学の理論と方法を理解する。

【学習の到達目標】

- ・予防処置、歯科保健指導の概念と歯科衛生士の役割について説明できる。
- ・口腔清掃の方法、用具、術式、評価法を整理し、口腔内の状態に応じた口腔清掃方法を説明できる。
- ・う蝕活動性の概念について説明できる。
- ・う蝕予防処置法（フッ化物の局所応用、小窩裂溝填塞法）の理論、術式について説明できる。
- ・歯周疾患の予防手段（予防的歯石除去法）の概念、術式について説明できる。
- ・歯周疾患の診査方法（PMA Index、歯周ポケット測定など）について説明できる。
- ・う蝕予防、歯周疾患予防に関する知識を整理し、対象別に保健指導を行うことができる。
- ・患者から情報収集したデータを元に歯科保健指導計画をたて、評価方法を説明できる。
- ・歯科保健指導を行う場合に考慮すべき問題点を、ライフステージごとに説明できる。
- ・歯科治療の内容（補綴物装着、義歯装着、矯正治療など）に応じた歯科保健指導を説明できる。
- ・歯科保健指導を行うための適切な話法について説明できる。
- ・う蝕予防ならびに歯周疾患予防のための、栄養指導、生活指導について説明できる。

【授業形態】

授業は5つのシナリオを用いてPBL形式で行い、各シナリオ終了後、必要に応じて補足セミナー・補足講義を行う。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	10/2（金）	1 限 オリエンテーション（葭原） 2 限 シナリオ1パート1提示（FC）	PBLの進め方の復習 シナリオ1パート1の学習課題の整理
2	10/5（月）	3 限 シナリオ1パート1グループ討議（FC） 4 限 シナリオ1パート2提示（FC）	シナリオ1パート1の学習成果発表の準備 シナリオ1パート2の学習課題の整理
3	10/9（金）	1-2 限 グループ学習	シナリオ1パート2の学習成果発表の準備
4	10/12（月）	3 限 シナリオ1パート2グループ討議（FC） 4 限 シナリオ1パート3提示（FC）	シナリオ1パート2の学習成果発表の準備 シナリオ1パート3の学習課題の整理
5	10/16（金）	1-2 限 グループ学習	シナリオ1パート3の学習成果発表の準備
6	10/19（月）	3 限 シナリオ1パート3グループ討議（FC） 4 限 シナリオ2パート1提示（FC）	シナリオ1パート3の学習成果発表の準備 シナリオ2パート1の学習課題の整理
7	10/23（金）	1 限 シナリオ1セミナー（葭原） 2 限 グループ学習	シナリオ1の学習課題および発表内容の復習 シナリオ2パート1の学習成果発表の準備
8	10/26（月）	3 限 シナリオ2パート1グループ討議（FC） 4 限 シナリオ2パート2提示（FC）	シナリオ2パート1の学習成果発表の準備 シナリオ2パート2の学習課題の整理
9	10/30（金）	1-2 限 グループ学習	シナリオ2パート2の学習成果発表の準備
10	11/2（月）	3 限 シナリオ2パート2グループ討議（FC） 4 限 シナリオ2パート3提示（FC）	シナリオ2パート2の学習成果発表の準備 シナリオ2パート3の学習課題の整理
11	11/6（金）	1-2 限 グループ学習	シナリオ2パート3の学習成果発表の準備
12	11/9（月）	3 限 シナリオ2パート3グループ討議（FC） 4 限 セミナー2（ロクサーナ、山崎）	シナリオ2パート3の学習成果発表の準備 シナリオ2の学習課題および発表内容の復習
13	11/13（金）	1 限 シナリオ3パート1提示 2 限 グループ学習	シナリオ3パート1の学習課題の整理 シナリオ3パート1の学習成果発表の準備
14	11/16（月）	3 限 シナリオ3パート1グループ討議（FC） 4 限 シナリオ3パート2提示（FC）	シナリオ3パート1の学習成果発表の準備 シナリオ3パート2の学習課題の整理
15	11/20（金）	1-2 限 グループ学習	シナリオ3パート2の学習成果発表の準備

16	11/27 (金)	1 限 2 限	シナリオ 3 パート 2 グループ討議 (FC) シナリオ 3 パート 3 提示 (FC)	シナリオ 3 パート 2 の学習成果発表の準備 シナリオ 3 パート 3 の学習課題の整理
17	11/30 (月)	3-4 限	グループ学習	シナリオ 3 パート 3 の学習成果発表の準備
18	12/4 (金)	1 限 2 限	シナリオ 3 パート 3 グループ討議 (FC) シナリオ 4 パート 1 提示 (FC)	シナリオ 3 パート 3 の学習成果発表の準備 シナリオ 4 パート 1 の学習課題の整理
19	12/7 (月)	3 限 4 限	シナリオ 3 セミナー (ロクサーナ) グループ学習	シナリオ 3 の学習課題および発表内容の復習 シナリオ 4 パート 1 の学習成果発表の準備
20	12/11 (金)	1 限 2 限	シナリオ 4 パート 1 グループ討議 (FC) シナリオ 4 パート 2 提示 (FC)	シナリオ 4 パート 1 の学習成果発表の準備 シナリオ 4 パート 2 の学習課題の整理
21	12/14 (月)	3-4 限	グループ学習	シナリオ 4 パート 2 の学習成果発表の準備
22	12/18 (金)	1 限 2 限	シナリオ 4 パート 2 グループ討議 (FC) シナリオ 4 パート 3 提示 (FC)	シナリオ 4 パート 2 の学習成果発表の準備 シナリオ 4 パート 3 の学習課題の整理
23	12/21 (月)	3-4 限	グループ学習	シナリオ 4 パート 3 の学習成果発表の準備
24	12/25 (月)	1 限 2 限	シナリオ 4 パート 3 グループ討議 (FC) シナリオ 4 パート 4 提示 (FC)	シナリオ 4 パート 3 の学習成果発表の準備 シナリオ 4 パート 4 の学習課題の整理
25	1/8 (金)	1-2 限	グループ学習	シナリオ 4 パート 4 の学習成果発表の準備
26	1/15 (金)	1 限 2 限	シナリオ 4 パート 4 グループ討議 (FC) シナリオ 5 パート 1 提示 (FC)	シナリオ 4 パート 4 の学習成果発表の準備 シナリオ 5 パート 1 の学習課題の整理
27	1/18 (金)	3 限 4 限	シナリオ 4 セミナー (葎原) グループ学習	シナリオ 4 の学習課題および発表内容の復習 シナリオ 5 パート 1 の学習成果発表の準備
28	1/22 (金)	1 限 2 限	シナリオ 5 パート 1 グループ討議 (FC) シナリオ 5 パート 2 提示 (FC)	シナリオ 5 パート 1 の学習成果発表の準備 シナリオ 5 パート 2 の学習課題の整理
29	1/25 (月)	3-4 限	グループ学習	シナリオ 5 パート 2 の学習成果発表の準備
30	1/29 (金)	1 限 2 限	シナリオ 5 パート 2 グループ討議 (FC) シナリオ 5 パート 3 提示 (FC)	シナリオ 5 パート 2 の学習成果発表の準備 シナリオ 5 パート 3 の学習課題の整理
31	2/1 (月)	3-4 限	グループ学習	シナリオ 5 パート 3 の学習成果発表の準備
32	2/5 (金)	1 限 2 限	シナリオ 5 パート 3 グループ討議 (FC) シナリオ 5 セミナー (葎原、山崎)	シナリオ 5 パート 3 の学習成果発表の準備 シナリオ 5 の学習課題および発表内容の復習

【成績評価の方法と基準】

知識を確認する筆記試験 (100%) による総括的な客観評価を行う。なお、12月に実施する改良版トリプルジャンプにより形式的評価を行う。改良版トリプルジャンプを正当な理由なく受験しなかった場合、総括的評価を受けられないことがあるので注意すること。

【使用テキスト】

特に指定しない。

【参考文献】

- 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版 (7,600円)
 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常 1 歯科補綴」医歯薬出版 (3,000円)
 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 小児歯科」医歯薬出版 (3,000円)
 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 口腔保健管理」医歯薬出版 (3,200円)
 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 保健生態学」医歯薬出版 (5,600円)
 祖父江鎮雄・他編「新小児歯科学」医歯薬出版 (18,000円)
 白川 哲雄・他変「小児歯科学 (第5版)」医歯薬出版 (13,000円)
 向井 美恵 編著「乳幼児の摂食指導 お母さんの疑問にこたえる」医歯薬出版 (3,800円)
 安井 利一 監修「子どものための歯と口の健康づくり」医歯薬出版 (2,800円)
 予防歯科臨床教育協議会 編「実践予防歯科」医歯薬出版 (9,500円)
 予防歯科臨床教育協議会 編「予防歯科実践ハンドブック」医歯薬出版 (5,500円)
 筒井 昭仁・他編「新 フッ化物ではじめるむし歯予防」医歯薬出版 (3,800円)
 矢谷 博文・他編「クラウンブリッジ補綴学 (第5版)」医歯薬出版 (10,000円)
 藍 稔・他編「スタンダード部分床義歯補綴学 (第2版)」学建書院 (7,500円)

科 目 名：歯科衛生学実習 I

担 当 教 員：諏訪間 加奈、葭原 明弘、吉羽 邦彦、柴田 佐都子、岩瀬 陽子、米澤 大輔、小田島 あゆ子、上原 愛 (非)、小島 千奈美 (病)、駒澤 美幸 (病)、坂本 裕里子 (病)、牧口 由依 (病)、横山 奈央 (病)

開 講 番 号：200DA210

開 講 学 期：第 2 学期

水 準：14

単 位 数：3 単位

対 象 学 部 等：口腔生命福祉学科 2 年生

【科目概要】

歯科衛生学のPBLで学ぶ内容に即して、保健指導と予防処置（う蝕予防）および予防処置（歯石除去）について、実習および講義により学習する。

※歯科医師、歯科衛生士としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

歯科保健指導を行うために、各種口腔清掃法、口腔清掃効果の評価、情報収集の方法を理解・修得する。また、う蝕予防処置法・予防的歯石除去に必要な基礎知識ならびに技術、態度、具体的な処置について十分に理解し、その手技を修得する。

【学習の到達目標】

〈保健指導・予防処置（う蝕予防）〉

- ・ 歯科保健指導を行うために必要な情報を収集（問診、口腔内観察、清掃効果評価など）することができる。
- ・ 口腔清掃法の種類、用具、特徴を説明し、適切な方法で実施できる。
- ・ 口腔内写真を撮ることができる。
- ・ フッ化物歯面塗布や洗口の効果、安全量、実施後の注意事項を述べることができる。
- ・ フッ化物歯面塗布を実施できる。
- ・ う蝕活動性試験を実施できる。
- ・ 集団指導法内容・実施方法（使用媒体の選択など）を計画することができる。

〈予防処置（歯石除去）〉

- ・ 予防的歯石除去の必要性や効果を述べることができる。
- ・ 各種手用スケーラーの特徴を列挙することができる。
- ・ マネキンにおいて、手用スケーラーで歯石除去を実施できる。
- ・ シャープニングを実施できる。
- ・ 歯面研磨を実施できる。

【授業形態】

基礎実習、相互実習、ロールプレイング、グループ討議を行う。

【履修上の注意】

- ・ 実習については、具体的な手技を実習前に各自で予習した上で臨むこと。

【授業計画】

回	日時	講義内容 (担当)	準備学習 (予習範囲)
〈保健指導・予防処置（う蝕予防）〉			
1	10/7 (火) 1-2 限	ポジショニング、口腔内操作 (柴田、小田島、諏訪間)	実習の手引きによる実習内容確認
2	10/20 (火) 3-4 限	口腔内観察実習・口腔内写真撮影 1 (吉羽、米澤、諏訪間)	実習の手引きによる実習内容確認
3	10/27 (火) 3-4 限	口腔内観察実習・口腔内写真撮影 2 (吉羽、米澤、諏訪間)	実習の手引きによる実習内容確認
4	11/10 (火) 3-4 限	口腔清掃法評価の指標 (柴田、牧口、諏訪間)	実習の手引きによる実習内容確認
5	11/17 (火) 3-4 限	ブラッシング指導 1 (小田島)	実習前課題の実施、実習の手引きによる実習内容確認
6	11/24 (火) 1-2 限	ブラッシング指導 2 (米澤、小田島)	実習の手引きによる実習内容確認
7	12/1 (火) 3-4 限	ブラッシング指導 3 (小田島、米澤)	実習の手引きによる実習内容確認
8	12/8 (火) 3-4 限	ブラッシング指導 4 (小田島、柴田)	実習の手引きによる実習内容確認
9	12/15 (火) 3-4 限	ブラッシング指導 5 (小田島、諏訪間)	実習の手引きによる実習内容確認
10	12/22 (火) 3-4 限	集団歯科保健指導 1 (米澤)	実習の手引きによる実習内容確認
11	1/7 (木) 3-4 限	う蝕予防処置法・フッ化物応用・う蝕活動性試験 (講義) (葭原)	テキスト①P184~198までの要点確認
12	1/12 (火) 3-4 限	クリニカルカリオロジー (講義) (吉羽)	テキスト①Ⅱ編 2 章、Ⅲ編 2 章③ 3 の要点確認
13	1/19 (火) 3-4 限	集団歯科保健指導 2 (米澤、柴田、諏訪間)	実習の手引きによる実習内容確認
14	1/21 (木) 3-4 限	ライフステージにあわせた口腔保健管理 (講義) (岩瀬)	テキスト①Ⅳ編 1 章の要点確認

15	1/26 (火)	3-4 限	フッ化物応用 (フロリデーショ、フッ化物洗口) (葭原、小田島)	実習の手引きによる実習内容確認
16	1/28 (木)	3-4 限	う蝕活動性試験、フッ化物応用 (フッ化物歯面塗布相互実習) (葭原、米澤、諏訪間)	実習の手引きによる実習内容確認
17	2/2 (火)	3-4 限	実技試験 (う蝕予防、保健指導) (諏訪間、葭原、柴田、米澤、小田島)	実習試験の手引きによる内容確認
〈予防処置 (歯石除去)〉				
18	10/1 (木)	3-4 限	予防的歯石除去について、シクルスケーラーの操作方法 (諏訪間、柴田、米澤)	実習前課題の実施、実習の手引きによる実習内容確認
19	10/6 (火)	3-4 限	シクルスケーラーの操作方法 (米澤、小田島、諏訪間)	実習前課題の実施、実習の手引きによる実習内容確認
20	10/8 (木)	3-4 限	キュレットスケーラーの操作方法 (前歯部) (米澤、上原、柴田)	実習前課題の実施、実習の手引きによる実習内容確認
21	10/15 (木)	3-4 限	キュレットスケーラーの操作方法 (左側臼歯部) (柴田、上原、諏訪間)	実習前課題の実施、実習の手引きによる実習内容確認
22	10/22 (木)	3-4 限	キュレットスケーラーの操作方法 (右側臼歯部) (諏訪間、上原、米澤)	実習前課題の実施、実習の手引きによる実習内容確認
23	10/29 (木)	3-4 限	ハンドスケーラー基礎実習まとめ1、シャープニング (シクルスケーラー) (柴田、上原、米澤)	第18~22回までの実習内容の復習、実習の手引きによる実習内容確認
24	11/5 (木)	3-4 限	ハンドスケーラー基礎実習まとめ2、シャープニング (キュレットスケーラー) (米澤、上原、諏訪間)	第18~22回までの実習内容の復習、実習の手引きによる実習内容確認
25	11/12 (木)	3-4 限	ハンドスケーラー基礎実習まとめ3、歯科衛生士業務記録について (諏訪間、上原、柴田)	第18~22回までの実習内容の復習、実習の手引きによる実習内容確認
26	11/19 (木)	3-4 限	実技試験 (歯石除去) (諏訪間、上原、柴田、米澤)	第18~25回までの実習内容の復習、実習試験の手引きによる内容確認
27	11/26 (木)	3-4 限	ハンドスケーラー実習まとめ (諏訪間、上原、柴田)	第18~26回までの実習内容の復習、実習の手引きによる内容確認
28	12/3 (木)	3-4 限	歯面研磨相互実習1 (諏訪間、横山、柴田)	実習の手引きによる実習内容確認
29	12/10 (木)	3-4 限	歯面研磨相互実習2 (米澤、諏訪間)	実習の手引きによる実習内容確認
30	12/17 (木)	3-4 限	ハンドスケーラー相互実習1 (前歯部) (諏訪間、坂本、米澤)	第18~26回までの実習内容の復習、実習の手引きによる内容確認
31	12/24 (木)	3-4 限	ハンドスケーラー相互実習2 (左側臼歯部) (諏訪間、小島、柴田)	第18~26回までの実習内容の復習、実習の手引きによる内容確認
32	1/14 (木)	3-4 限	ハンドスケーラー相互実習3 (右側臼歯部) (諏訪間、駒沢、米澤)	第18~26回までの実習内容の復習、実習の手引きによる内容確認

【成績評価の方法と基準】

う蝕予防の実技試験 (35%)、歯石除去の実技試験 (35%)、およびレポート (30%) で総括的に評価する。なお、出欠状況も考慮するが、出席による加点は行わない。

【使用テキスト】

- ①全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版 (7,600円)
- ②全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯周病学」医歯薬出版 (3,580円)
- ③歯周病学実習のストラテジー、4,100円
- ④筒井 昭仁・他編「新 フッ化物ではじめるむし歯予防」医歯薬出版 (3,400円)

【参考文献】

- 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 口腔保健管理」医歯薬出版 (3,200円)
 全国歯科衛生士教育協議会 編「新歯科衛生士教本 歯科予防処置」医歯薬出版 (4,800円)
 全国歯科衛生士教育協議会 編「新歯科衛生士教本 歯科保健指導」医歯薬出版 (4,500円)

科 目 名：栄養学

担 当 教 員：葎原 明弘、天谷 吉宏、小師 優子（病）

開 講 番 号：200DA211

開 講 学 期：第2学期

水 準：14

単 位 数：2単位

対 象 学 部 等：口腔生命福祉学科2年生

【科目概要】

歯科衛生士として栄養指導を行うにあたって必要な栄養学・生化学の基礎知識を総合的に学習する。
※歯科医師、歯科衛生士としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

生体と食物の構成成分とその化学的特徴（構造と消化・吸収・代謝）を知り、生命現象が物質相互の化学反応によって営まれていることを理解する。

【学習の到達目標】

- ・栄養素の種類・作用・欠乏症を述べることができる。
- ・三大栄養素の消化・吸収と生体エネルギー産生の概要を説明できる。
- ・口腔と食生活のつながりを関係づけることができる。
- ・疾病と食事のつながりを関係づけることができる。
- ・自分の食生活の問題点を挙げるができる。
- ・結合組織の化学的性質、生理学的機能を述べるができる。
- ・口腔内の結合組織と歯の構成成分を列挙できる。
- ・う蝕と口腔細菌の代謝について説明できる。
- ・NSTについて説明できる。

【授業形態】

資料、スライド等を用いて講義を行う。講義に使用する資料は、各授業時に配布する。

【履修上の注意】

- ・参考文献および関連するテキストを読んで栄養学の概要を把握しておくこと。
- ・次回の準備物および学習が必要な場合には、各授業終了時に指示する。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	10/7（水）3-4限	からだをつくる物質、栄養素の化学構造と役割（天谷）	参考図書① p6-22 を参考に講義テーマについて学習
2	10/14（水）3-4限	食物からエネルギーをつくるしくみ、食物の消化と吸収、呼吸と生体エネルギー産生（天谷）	参考図書① p23-49 を参考に講義テーマについて学習
3	10/21（水）3-4限	歯と骨（硬組織）の健康と栄養、歯や骨をつくるビタミンとミネラル、う蝕と口腔細菌の糖代謝（天谷）	参考図書① p50-80 を参考に講義テーマについて学習
4	10/28（水）3-4限	食生活分析、ダイエットについて、基礎代謝量、バランスガイド（葎原）	参考図書① p116-139 を参考に講義テーマについて学習
5	11/4（水）3-4限	食生活と健康、おいしさと食形態（葎原）	参考図書① p178-210 を参考に講義テーマについて学習
6	11/11（水）3-4限	五大栄養素、食事摂取基準（葎原）	参考図書① p140-177 を参考に講義テーマについて学習
7	11/18（水）3-4限	栄養サポートチーム（NST）について、検査数値からみた病態について、実際の栄養サポートと栄養食事相談（小師）	参考図書② p229-230 を参考に栄養指導について学習
8	11/25（水）3-4限	これまでのまとめ・復習（葎原）	今までの授業内容を復習

【成績評価の方法と基準】

知識を確認する筆記試験（100％）による総合的な客観評価を行う。

【使用テキスト】

指定しない。必要に応じて資料等を配布する。

【参考文献】

- ①全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能2 栄養と代謝」医歯薬出版（3,500円）
- ②全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版（7,600円）
- 中村 美和子・他編「わかりやすい栄養学 臨床・地域で役立つ食生活指導の実際」ニューヴェルヒロカワ（2,200円）
- 須田 立雄・他監修「口腔生化学（第6版）」医歯薬出版（9,500円）
- 香川 明雄 監修「七訂食品成分表」女子栄養大学出版（1400円）

科 目 名：社会調査法
 担 当 教 員：葭原 明弘、濃野 要、米澤 大輔、諏訪問 加奈、八木 稔（支）
 開 講 番 号：200DA212 開 講 学 期：第1学期 水 準：14
 単 位 数：2単位 対 象 学 部 等：口腔生命福祉学科2年生

【科目概要】
 保健医療福祉の場におけるデータの収集、データの尺度、その特徴のとらえ方、その表現あるいは分析の方法、また、意味のある結果と結論を導き出すための考え方について講義を行う。

【科目のねらい】
 保健医療福祉に関する客観的な評価や判断の方法、およびその個別の手法について理解し、基本的な医療統計の技法を習得するために、基本的な、データの処理、研究デザイン、仮説検定、およびデータ分析について理解する。

- 【学習の到達目標】**
- ・記述統計および推測統計について説明できる。
 - ・データあるいは尺度の種類について説明できる。
 - ・母集団と標本との関係について説明できる。
 - ・標本を代表する値について説明できる。
 - ・度数分布とヒストグラムについて説明しそれを作成できる。
 - ・データの分布について説明できる。
 - ・平均値、分散、比率に関する推定について説明と算定ができる。
 - ・仮説、P値、 α 値および β 値と検定について説明できる。
 - ・t検定および分散分析について説明と算定ができる。
 - ・ χ 二乗検定について説明と算定ができる。
 - ・相関関係と回帰分析について説明と算定ができる。
 - ・スクリーニング検査について説明できる。
 - ・カッパ係数について説明できる。
 - ・質的なデータの意義と方法について説明できる。
 - ・生存時間分析について説明できる。
 - ・Evidence-based Dentistryと統計学について説明できる。
 - ・パラメトリックおよびノンパラメトリックな検定について説明できる。

【授業形態】
 講義を行い、必要に応じて演習あるいは予備的な試験を実施することがある。講義内容によっては、レポートの提出を求められることがある。

- 【履修上の注意】**
- ・四則演算ができること。
 - ・一次関数のグラフを書く能力があること。
 - ・高校数学（とくに順列組合わせ、確率）の知識があることが望ましい。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	4/13（月）2限	記述統計：観測値の表示（度数分布、ヒストグラム、平均値、中央値、最頻値など）、ばらつきの尺度（範囲、偏差、分散、標準偏差、変動係数など）（濃野）	事前に配布された資料に基づき統計学の概要について学習
2	4/20（月）2限	はじめに、臨床的問題の定式化、研究のデザイン（葭原）	事前に配布された資料に基づき先回の内容の復習
3	4/27（月）2限	推測統計：推定値と推測、母集団と標本、標準誤差（濃野）	事前に配布された資料に基づき母集団と標本との関係について学習
4	5/7（木）2限	t検定（2群の平均値の差の検定）（濃野）	事前に配布された資料に基づきStudentのt検定、Welchのt検定について学習
5	5/11（月）2限	分散分析（3群以上の平均値の検定）（濃野）	事前に配布された資料に基づき分散分析（特に一元配置分散分析）について学習
6	5/18（月）2限	χ 二乗検定（比率、独立性および適合度の検定）（諏訪問）	事前に配布された資料に基づき χ 二乗検定、 2×2 表について学習
7	5/25（月）2限	健康診断の精度：診査の一致とスクリーニング（米澤）	事前に配布された資料に基づき疾患のスクリーニングについて学習

8	6/1 (月) 2限	質的データによる調査 (質的研究 I) (米澤)	事前に配布された資料に基づき質的研究について学習
9	6/8 (月) 2限	質的データによる調査 (質的研究 II) (米澤)	事前に配布された資料に基づき先回の内容の復習
10	6/15 (月) 2限	相関と回帰 (I) (葭原)	事前に配布された資料に基づき二つの事象の関連性 (特に因果関係) について学習
11	6/22 (月) 2限	相関と回帰 (II): 多変量解析を含む (葭原)	事前に配布された資料に基づき二つの事象の関連性 (特に因果関係) について学習
12	6/29 (月) 2限	メタアナリシス、システムティックレビュー (葭原)	事前に配布された資料に基づきメタアナリシス、システムティックレビューについて学習
13	7/6 (月) 2限	健康事象についての評価手法 (I): コホート研究 (八木)	事前に配布された資料に基づき前向き調査について先回の内容の復習
14	7/13 (月) 2限	健康事象についての評価手法 (II): 患者対照研究 (八木)	事前に配布された資料に基づき前回の内容の復習、後ろ向きの調査について学習
15	7/20 (月) 2限	ノンパラメトリック分析 (葭原)	事前に配布された資料に基づき Parametric / Non-parametric について学習
16	9/7 (月) 2限	試験 (葭原)	

【成績評価の方法と基準】

多肢選択式または記述式の筆記試験 (100%) に基づいて合否を判定する。

【使用テキスト】

指定しない。必要に応じて資料等を配布する。

【参考文献】

吉田勝美・監訳「一目でわかる医科統計学 (第2版)」メディカル・サイエンス・インターナショナル (3,400円)
 日本補綴歯科学会 編「歯科臨床研究の統計ガイド」医歯薬出版 (3,600円)
 高橋 都・他編「はじめての質的研究法 医療・看護編」東京図書 (2,800円)

科 目 名：衛生学・公衆衛生学

担 当 教 員：小川 祐司、葭原 明弘、大内 章嗣、八木 稔（支）

開 講 番 号：200DA213

開 講 学 期：第2学期

水 準：14

単 位 数：2単位

対 象 学 部 等：口腔生命福祉学科2年生

【科目概要】

口腔保健を織り込みながら、衛生・環境衛生、公衆衛生の講義を行う。

【科目のねらい】

人の「健康」を考え、人を取りまく自然環境や社会環境を理解する。人の「健康」中での口腔保健の役割を理解し、公衆衛生的な保健計画の立案や実施に必要な知識と技術を習得する。

【学習の到達目標】

- ・健康の概念（Primary Health Care）を理解する。
- ・予防の概念（1次、2次、3次予防）を理解する。
- ・ヘルスプロモーションなどの予防学の基本となる概念を理解する。
- ・病因論と病原論の両面から疾患予防を理解する。
- ・疾患予防や健康増進を公衆衛生的に実施する方法、個人管理で行う方法を理解する。

【授業形態】

スライド、資料等を使用して講義を行う。

【履修上の注意】

- ・あらかじめ教科書を読み、授業前に知識の構築および疑問点の整理した上で授業に臨むこと。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	10/1（木）1限	健康の概念、PHC（Primary Health Care）（小川）	テキスト①p1-7、テキスト②p2-7
2	10/8（木）1限	人口問題（八木）	テキスト①p23-30、テキスト②p18-33
3	10/15（木）1限	食品衛生・栄養（葭原）	テキスト①p61-80、テキスト②p75-84
4	10/22（木）1限	地域保健組織・保健計画、地域保健活動（八木）	テキスト①p143-16、テキスト②p212-240
5	10/29（木）1限	環境衛生Ⅰ（空気、気候、上水・下水）（小川）	テキスト①p92-96、テキスト②p34-44
6	11/5（木）1限	環境衛生Ⅱ（廃棄物処理・公害）（小川）	テキスト①p81-91、98-99、テキスト②p49-58
7	11/12（木）1限	環境衛生Ⅲ（騒音・振動・放射線）（金子）	テキスト①p97、100-102、テキスト②p45-46、54
8	11/19（木）1限	生活習慣病 NCD（小川）	テキスト①p119-143、テキスト②p3-5、280-283
9	11/26（木）1限	感染症（葭原）	テキスト①p107-116、テキスト②p59-74
10	12/3（木）1限	疫学（小川）	テキスト①p41-60、テキスト②p8-17
11	12/10（木）1限	母子保健（小川）	テキスト①p183-194、テキスト②p200-204、241-251
12	12/17（木）1限	学校保健（小川）	テキスト①p195-204、テキスト②p205-206、252-268
13	12/24（木）1限	成人・高齢者保健（葭原）	テキスト①p211-234、テキスト②p207-210、269-281
14	1/7（木）1限	産業保健（小川）	テキスト①p205-209、テキスト②p282-293
15	1/21（木）1限	精神保健福祉（大内）	テキスト①p235-241、テキスト②p294-301
16	1/28（木）1限	試験	

【成績評価の方法と基準】

筆記試験（100%）により総合的に評価する。

【使用テキスト】

- ・宮武光吉他編：「衛生学・公衆衛生学」医歯薬出版（7,000円）
- ・全国歯科衛生士教育協議会監修：「最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学（第3版）」医歯薬出版（5,600円）

【参考文献】

- ・安井利一他編：「口腔保健・予防歯科学」医歯薬出版（10,000円）
- ・厚生労働統計協会編：「国民衛生の動向」（2,315円）
- ・泉福英信編：「デンタルスタッフの口腔衛生学・歯科衛生統計」医歯薬出版（3,500円）

科 目 名：歯科診療補助Ⅰ

担 当 教 員：吉羽 邦彦、小野 和宏、Stegaroiu Roxana、奥村 暢旦、柴田 佐都子、米澤 大輔、諏訪間 加奈、小田島 あゆ子、渡邊 清志（支）、塚田 しげみ（病）、高野 綾子（病）

開 講 番 号：200DA214 **開 講 学 期：**第2学期 **水 準：**14

単 位 数：2単位 **対 象 学 部 等：**口腔生命福祉学科2年生

【科目概要】

歯科診療における補助および介助の業務内容を理解するために、基本的な診療器材の種類、目的および取り扱い方について解説し、正しくかつ安全に使うあるいは行えるように実技指導する。

※歯科医師、歯科衛生士としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

歯科医療現場におけるチーム診療を円滑に行うために、診療補助及び診療介助業務に関する基本的な知識、技術及び態度を習得する。

【学習の到達目標】

- ・ 歯科診療補助・介助の業務内容が説明できる。
- ・ 一般診療用器械の種類、構造及び機能が説明できる。
- ・ 一般診療用器械を安全に取り扱うことができる。
- ・ 患者の誘導、ポジショニング、ライティング操作ができる。
- ・ 口腔内洗浄およびバキューム操作ができる。
- ・ 歯科用器具の滅菌消毒ができる。
- ・ 手指消毒及びグローブの着脱ができる。
- ・ 歯科材料の種類、成分及び用途が説明できる。
- ・ セメント、印象材および石膏が練和できる。
- ・ 口腔内で弾性印象材による印象採得ができる。
- ・ 研究用模型が製作できる。
- ・ バイトワックスによる咬合採得ができる。
- ・ 接着修復の臨床的意義が説明できる。
- ・ 器材の受け渡しができる。

【授業形態】

講義室での実習講義、実習室での基礎実習および相互実習室での学生相互の実習を行う。

【履修上の注意】

- ・ 毎回、事前配布する「実習の手引き」と教科書の該当箇所を読んだ上で授業に臨むこと。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	10/2（金）3-4限	講義：総論（診療補助・介助とは、シンプルマネジンの取り付けについて）（吉羽、柴田、諏訪間、米澤）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる内容確認、テキスト①p2-6、50-68の要点確認
2	10/9（金）3-4限	実習：実習機の使用説明、タービンとマイクロモーターの使用法・保守、バーの着脱法、診療用ユニットの構造機能および保守（吉羽、柴田、小田島）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト②p6-18、78-79の要点確認
3	10/16（金）3-4限	講義：滅菌消毒の違いと清潔・不潔域の区別 実習：汚染器材の洗浄、消毒・滅菌の前準備、薬液消毒の濃度調整、滅菌・消毒器具の取扱い（小野、米澤、柴田、小田島）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる内容確認、テキスト①p18-43の要点確認
4	10/23（金）3-4限	相互実習：診療ユニットの操作法、患者の誘導、バキューム操作、オートクレーブ、JW、超音波洗浄器の使い方（米澤、柴田、諏訪間、小田島）	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p18-43、テキスト②p6-18、23-25の要点確認
5	10/30（金）3-4限	相互実習：口腔内洗浄、バキューム操作（術者サイドと介助者サイド）（米澤、柴田、諏訪間、小田島）	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p71-77の要点確認
6	11/6（金）3-4限	講義：セメントと成形修復材の種類と用途（吉羽）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる内容確認、テキスト①p222-235、240-249、テキスト③p4-23、72-127の要点確認

7	11/13 (金)	3-4 限	基礎実習：セメントの練和 (GIC、レジンセメント)、仮封材、仮着材、根充材、覆髄材の取り扱い (ステガロユ、柴田、米澤、小田島、塚田)	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p222-235、240-249、テキスト③p72-127の要点確認
8	11/20 (金)	3-4 限	講義：印象材、模型材およびワックスの種類と用途 (吉羽)	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる内容確認、テキスト③p43-58、59-71、128-134の要点確認
9	11/24 (火)	3-4 限	基礎実習：アルジネート印象材の練和 (手練和、機械練和) (柴田、米澤、小田島、高野)	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p192-202の要点確認
10	12/4 (金)	3-4 限	基礎実習：印象用トレーの選択・試適・印象操作 (アルジネート印象材、シリコン印象材) (ステガロユ、米澤、高野、(小田島))	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト①p192-202、204-208の要点確認
11	12/11 (金)	3-4 限	基礎実習：石膏の練和・注入法、硬化時間の調整法 (ステガロユ、奥村、渡邊、諏訪間、(米澤))	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト①p214-221、テキスト③p59-66の要点確認
12	12/18 (金)	3-4 限	相互実習：全顎印象用トレーの選択、スタディモデル用印象 (アルジネート印象) と石膏注入、スタディモデル作製 (その1) (ステガロユ、吉羽、奥村、渡邊、柴田、小田島)	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト①p192-202、214-221の要点確認
13	12/25 (金)	3-4 限	相互実習：全顎印象用トレーの選択、スタディモデル用印象 (アルジネート印象) と石膏注入、スタディモデル作製 (その2) (ステガロユ、吉羽、奥村、渡邊、米澤、諏訪間)	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト①p192-202、214-221の要点確認
14	1/8 (金)	3-4 限	相互実習：全顎印象用トレーの選択、スタディモデル用印象 (アルジネート印象) と石膏注入、スタディモデル作製 (その3) (ステガロユ、吉羽、奥村、渡邊、小田島、柴田)	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト①p214-221の要点確認
15	1/15 (金)	3-4 限	相互実習：寒天・アルジネート連合印象、ワックスによる咬合採得 (吉羽、ステガロユ、諏訪間、(柴田))	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト①p203-204の要点確認
16	1/22 (金)	3-4 限	講義：接着修復の臨床 (吉羽)	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる要点確認
17	1/29 (金)	3-4 限	講義・相互実習：器具材料の受け渡しの動作 (柴田、米澤)	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト①p69-71の要点確認
18	2/4 (木)	3-4 限	実習試験 (OSCE、筆記試験) (吉羽、小野、ステガロユ、柴田、米澤、諏訪間、小田島)	第17回までの講義・実習内容の復習

【成績評価の方法と基準】

実技試験 (60%) と筆記試験 (40%) で総括的評価を行う。

【使用テキスト】

- ①全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 (第2版)」医歯薬出版 (6,000円・税別)
 ②全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科機器」医歯薬出版 (3,500円・税別)
 ③全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科材料」医歯薬出版 (3,500円・税別)

【参考文献】

日本接着歯学会 編「接着ここが知りたい 歯科衛生士編」口腔保健学会 (3,400円・税別)

科目名：臨床歯科学Ⅰ

担当教員：黒川 孝一、山崎 和久、吉羽 邦彦

開講番号：200DA215

開講学期：第2学期

水準：14

単位数：1単位

対象学部等：口腔生命福祉学科2年生

【科目概要】

歯科保存領域の疾患に対する原因・診断・治療法について小グループにより学習・調査し、その結果を発表して討論し、理解を深める。

※歯科医師、歯科衛生士としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

実際の臨床の現場で対応できる知識を身につけるため、様々な疾患や病状を持った具体的なケースを題材としてグループで議論しながら、自ら考え、調査し、議論してグループメンバーと協力して与えられた課題を解決することを体験する。このような経験を通じて口腔領域の疾患の病態、全身と口腔疾患との関連、治療法を理解する。

【学習の到達目標】

- ・ 歯科保存学（修復、歯内療法）領域の疾患の原因、治療法、診療室における歯科衛生士の役割について説明できる。
- ・ 歯周病学領域の疾患の原因、治療法、診療室における歯科衛生士の役割について説明できる。

【授業形態】

PBLを行うことを主体とする。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	12/2（水）3限 4限	シナリオ1の提示と学習課題の設定（FC） 自習（FC）	PBLの進め方の復習
2	12/9（水）3-4限	グループ学習	シナリオ1の学習課題の整理
3	12/16（水）3-4限	グループ討議・シナリオ2提示と学習課題の設定（FC）	シナリオ1のグループ学習内容の整理
4	12/23（水）3-4限	グループ学習	シナリオ2の学習課題の整理
5	1/13（水）3-4限	グループ討議・シナリオ3提示と学習課題の設定（FC）	シナリオ2のグループ学習内容の整理
6	1/20（水）3-4限	グループ学習	シナリオ3の学習課題の整理
7	1/27（水）3-4限	グループ討議・シナリオ4提示と学習課題の設定（FC）	シナリオ3のグループ学習内容の整理
8	1/22（水）3-4限	グループ学習	シナリオ4の学習課題の整理
9	2/3（水）3限 4限	最終グループ討議（FC） 学生からの質問に答えるセミナー（山崎・黒川・吉羽）	シナリオ4のグループ学習内容の整理 追加学習・学習成果の要点確認

【成績評価の方法と基準】

筆記試験（選択式および記述式）（100%）により評価する。

なお、12月に実施する改良版トリプルジャンプにより形成的評価を行う。改良版トリプルジャンプを正当な理由なく受験しなかった場合、総括的評価を受けられないことがあるので注意すること。

【使用テキスト】

指定しない。

【参考文献】

必要に応じて授業中に紹介する。